

県士会ニュース

Kanagawa Association of Occupational Therapists —KAOT—

No.
189

Contents

TOPIC

平成29年度神奈川県精神障害者スポーツ大会報告

～さらなる発展への期待を込めて～ 3

作品コーナー.....	1	各部からの報告.....	4
巻頭言.....	1	求人案内.....	8
理事会報告.....	2	ニュース宛名への職場名印刷に関するお詫び.....	8
研修会案内.....	3	事務局からのお願い.....	8
連載 生活行為向上マネジメント.....	4	編集後記.....	8

作品コーナー

久保直子氏（介護老人保健施設 葵の園・武蔵小杉）

作品名 冬景色、花（切り絵） 制作者 斯波 保夫様（89歳）

制作者プロフィール 昭和3年生まれ。退職後に趣味で切り絵をはじめ。2年前に脳幹梗塞を発症し右片麻痺が出現。もう切り絵は出来ないと諦めていたが、回復期リハビリでもう一度切り絵をやってみないかと勧められ再開。回復期リハビリ退院後も通所リハビリにて継続している。徐々に手の動きも良くなり、細かい作業も出来るようになってきた。徐々に集中力も向上し、長時間の作業も出来るようになった。昨年、家族の勧めで喫茶店を借りてはじめて展覧会を開くまでとなった。

作品について 私は雪国生まれのため冬景色が懐かしいため大変難しいと思いながらも挑戦してみました。また、花は初夏の花で冬なでも好きだと思う藤、バラ、菖蒲の3点を選んでみました。2年前に脳幹梗塞となり右手、右足が不自由となり私の大好きな切り絵は出来ないと思っていたが介護老人保健施設の通所リハビリにお世話になり体操やリハビリで親切にご指導くださりおかげさまで再び切り絵が出来るまでになり楽しく毎日を送っています。

巻頭言

これから

神奈川県作業療法士会 広報部 部長 北里大学病院 神保 武則

長崎県出身のカズオ・イシグロは5歳の時、父親の仕事の関係で英国に移住した。祖国日本に対する想いや葛藤を抱きつつも、国籍を英国に移し生涯英国人として生きることを選ぶ。そんな彼が2017年にノーベル文学賞受賞に輝いた。代表作は「遠い山なみの光」「日の名残り」など多数に渡り、「人が生きること」を描写する多彩な表現力で情緒的感性と思考を巡らせる、大変人気の高い小説家だ。先日、テレビのインタビューで、彼の描写の特徴をこう綴っていた。「人:Human being, とは、“記憶”がその人の人生を作り、そして時に“記憶”を操作することもある。“記憶”というものが、その人の人生や人生観に変わる…」と。何気なしに聞いたそのコメントが、作業療法士である自分の脳裏にふわっと何とも言えない風を運んだ気がした。我々は治療場面でも対象者の“記

憶」と“人・人生”に深く深く向き合っている。それはまさに奥底のない旅路の始まりに立つ瞬間を幾度となく我々は迎え、作業療法の奥深さに気づき、改めて振り返ったりする。日頃皆さんは、どんな瞬間を迎えていますか？

さて、神奈川県作業療法士会（OT 県士会）の広報部は県内の作業療法活動をサポートする重要なポストとなり存在しています。一般県民に向けた作業療法のPR活動として、作業療法の幅広い役割の紹介、またその重要性や必要性などを伝え、さらに、これからの作業療法士を目指す方達の発掘に至るまで行っています。広報部員は休日を利用して、様々な場所でパンフレットやグッズなどを抱えて啓発活動を行ない、OTの“これから”を支援しているのです。しかし、当部員だけでは力不足もあるので、今後は、他の理事・委員や士会員にもご協

力を頂き、県士会員全員で広報活動をコラボする広報部隊を編制したいと考えています。枠組みを超えた広報活動を是非とも皆の力で後押ししてほしいと願います。

今後のOT県士会が取り組む課題は多岐に渡ります。将来を見据えた運営資金源の確保は必須であり、OTの増員も一つの条件となります。つまり、今後のOTに不可欠な行動目標として、社会における役割や理解を示し、その社会的貢献と発展を『作業療法ならではの視点』とし強調していく必要があるのです。対岸の火事ではない状況なのです。県内では約2100人以上のOTが県士会に所属しており、これから皆で力を合わせ、目標に向けた統一感を強化していく重要な時期に差し掛かっています。当然ながら、公益法人化に向けた取り組みも長期に渡り検討を重ねており、また、地域包括ケアシステムの構築を見据え、OTの活動に対する効果や効率性を高めるためのブロック構想化も視野に入れているところです。広報部は、会員である皆様の気持ちを繋ぎ合わせて

いくことを役割とし、県士会活動の強靱な原動力としていきたいと考えております。

さあ、新しい年の始まりです。カズオ・イシグロが伝えるように、今までの“記憶”をこれからの素晴らしいOTの未来に向け発展的に寄与するように再考してみませんか。、来年度に向けOT県士会がより良い方向に準備ができるよう皆で考えていきましょう！



理事会報告

★平成29年（2017年）度 第4回 理事会議事録

I. 日 時：平成29年11月9日（木）19：05～21：05

II. 場 所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 出席理事：野々垣、木村、金山、吉本、佐々木、
玖島、遠藤、野本、作田、村越、澤口、
佐藤、大郷（13名）

欠席理事：錠内、奥原、神保、名古屋（4名）

出席監事：田中、榎澤（2名）

その他：出口（広報部）、池田・平山（事務局 書記）

IV. 審議事項

1. 学術部：来年度の研究助成金の応募資格の変更について
(1)来年度の研究助成金の応募資格の変更について
新人会員向けと全会員向けの2課題の設定を検討する。
助成金の使い方については継続検討とする。
2. 地域包括ケア推進：部員の承認 池嶋孝二

V. 報告事項

1. 事務局

- (1)県からの情報提供
1)神奈川県地域ハビリテーション連携指針の改定について
- (2)その他の関係団体
1)県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」
2017年12月5日（火）18：00～会場：神奈川県総合医療会館7階大講堂⇒当士会より5名参加

2. 財務

- (1)中間監査 10/14（土）に実施

3. 教育部

- (1)研修会予定
1)現職者選択研修（発達障害領域の作業療法）

2018/2/11 会場：横浜リハビリテーション専門学校
講師：高橋香代子氏、鴨下賢一氏

4. 広報部

- (1)対外広報 今後の予定
1)2018/1/20 日本介護支援専門員協会南関東ブロック
研修会
2)2018/2月 地域リハビリテーションフォーラム

5. 福利部

- (1)JAOT 特別表彰受賞者推薦に向け、準備中

6. 地域リハビリテーション部

- (1)研修会について
1)神奈川県主催「介護予防従事者研修会」横浜・川崎会場：
2018/2/3、10日相模原・湘南会場：2018/1/14、21

7. 制度対策部

- (1)災害対策事業班
1)会員被災状況確認システムのデモ運用の実施延長について
当初デモ運用は9月下旬を予定していたが、2月3日の
OT協会の「災害発生を想定した訓練の実施」に合わせて、
デモ運用を行うようにしていく。

8. ウェブサイト管理委員会

- (1)県士会サイト・常時SSL化導入について
新しいURL⇒<https://kana-ot.jp>

9. MTDLP推進委員会

- (1)MTDLP 研修 2018/2/18 会場：横浜リハビリテーション専門学校

10. 渉外活動

- (1)10/26 神奈川県保健医療計画推進会議脳卒中医療連携
検討部会（吉本理事）医療計画の素案作成、計画内容や
その他課題を検討

（文責：池田・平山・金山）

平成29年度神奈川県精神障害者スポーツ大会報告 ～さらなる発展への期待を込めて～

北里大学 川口 敬之

平成29年度の神奈川県精神障害者スポーツ大会は、9月に卓球競技会、11月にバレーボール競技会が行われ、12月に開催されたボウリング競技会の終了をもって閉幕しました。神奈川県主催としては2年目であった今年度の大会を、良かった点と今後の課題という形でまとめ、ご報告いたします。

良かった点は、3種目ともに参加者が増加したことです。特に卓球（登録数：71名）とボウリング（登録数：68名）は前年度の1.5～2倍となり、盛況に終わりました。また、各競技会を通じて団体間や選手同士での交流が見られ、特にボウリングでは、レーンや団体の枠を越え見知らぬ人同士での交流が多く見られたのは、スポーツの特性によるところが大きいとはいえ、大会冥利に尽きる点でした。

今後の課題は、病院や施設を母体にした団体での参加がほとんどであり、個人の参加登録が少ないことです。団体での参加は、経済面・資源面の基盤や、仲間がいることでの参加のしやすさなどのメリットをもち、当事者にとって大会参加の敷居を低くする点があります。しかし、リハビリテーションや施設活動の一環としてのスポーツの意義を越えにくい側面があることも否めません。この辺りは、引き続きスポーツの普及啓発に努めることや、より参加しやすい形態（例えば、様々な種目の体験教室の同時開催など）を設定することにより、個人による参加のしやすさを高め、

競技人口を増やしていく取り組みが大会の開催意義の一つとして求められると思います。今後も病院や施設による団体での参加が、当事者がスポーツに親しむきっかけとして大切であることの理解のもと、個人による参加も増やしていくことで、スポーツがもつ様々な可能性を広げられる大会に発展させることができるのではないかと思います。

参加者数については、各種目とも会場を埋め尽くすまではいかず、まだ余裕がある印象でした。近い将来にさらに参加者数が増え、実行委員や事務局の嬉しい悲鳴が聞ける日が来ることを願っております。また、3年目となる2018年は冬季オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツに対する意識が高まる年です。今後のさらなる発展のために、当事者のスポーツに触れる機会が多い作業療法士の働きかけは重要です。目の前の当事者の可能性を見つけ、明日の選手を生み出していく視点も併せ持ちながら関わっていくことが、スポーツの発展に貢献することになるのではないかと思います。



研修会案内

第47回三浦半島作業療法研究会

主催：三浦半島作業療法研究会

日時：2018年2月16日（金）

場所：神奈川県立保健福祉大学

URL：研究会ホームページ

<http://miuraot.kenkyuukai.jp/event/>

基礎ポイント研修

精神科病院における身体リハの実技研修

主催：東京都作業療法士会教育部

日時：2018年2月17日（土）

場所：東京 YMCA 医療福祉専門学校

URL：<http://tokyo-ot.com/training/index.php#3>

2017年度

脳損傷による高次脳機能障害に対する作業療法講習会

主催：脳外傷の作業療法研究会

日時：2018年2月25日（日）

場所：神奈川リハビリテーション病院

URL：<https://tbiot.wordpress.com>

第2回 日本うつ病作業療法研究会学術大会

主催：日本うつ病作業療法研究会

日時：2018年3月3日（土）、4日（日）

場所：専門学校 社会医学技術学院

URL：<https://utu-ot.jimdo.com/>



生活行為向上マネジメント

会員諸氏におかれましては生活行為向上マネジメントの普及推進にご協力いただき御礼申し上げます。

今回は最近あった嬉しい出来事についてご報告いたします。
先日、弊社の運営する訪問看護ステーションに新規利用者の申込みあり、担当作業療法士から申し送りをいただきました。

な、なんとその書式が「生活行為申し送り表」だったのです！！（図1）

弊社から「生活行為申し送り表」を送付することはありましたが、当書式で申し送りを受ける体験は初めてだったように記憶しております。

「生活行為申し送り表」については、以前も記載いたしました。(バックナンバーをご覧ください)

この申し送り表の役割は

- 1) 今までのサマリー同様に対象者の状態や生活行為について把握する
- 2) 病院（施設）から一貫した目標で、在宅でも生活行為が継続できるようにする
- 3) ケアマネジャーが作成するケアプラン（居宅サービス計画書）に反映する
が考えられます。

特に「３）ケアマネジャーが作成するケアプラン（居宅サービス計画書）に反映する」ことが重要になってきますが、病院（施設）を退院（退所）する際に申し送り表を送付しても、ケアプランは既に作成されていることが多いので、可能であればケアマネジャーがケアプランを作成する前に送付することが重要になってきます。

その理由としては、今までの経験上、ファーストプラン（最

初に作成するケアプラン) が大幅に変更になることが少ないからです。

もちろん例外も
ありますが2)の
観点からもファースト
プランに位置
付けるのが好まし
いと思われます。

生活行為向上マネジメントのすべての書式を既存のシステムに当てはめるのは非常に困難だと思われます。しかし、この「生活行為申し送り」行為の継続が意識生活行為の実現において非常に価値

[illegible]

図1 生活行為申し送り表

「生活行為申し送り表」を使用することで、在宅での生活行為の継続が意識できる点で、また、ご本人のやりたい生活行為の実現に向けてチームアプローチを継続できる点において非常に価値があると思います。

《今年度のMTDLP 関連研修》

2018年 2月 3日(土)事例作成研修

2018年 2月18日(日) 基礎研修

2018年 3月17日(土) 事例発表

※詳細はウェブサイトでご確認ください

(文責：生活行為向上マネジメント推進委員会 木村修介)

各部からの報告

社会保障制度

アンケートにご協力、ありがとうございました！！



県士会ニュース 186 号（昨年 8 月発行）の広報誌にて、自動車運転のアンケートのお願いをしていました。Web ページからダウンロードして FAX するという、手間のかかる方法でのお願いでしたが、8 施設からの応答がありました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。頂いたアンケート結果は、日本作業療法士協会実施の「都道府県士会協力者会議」にて神奈川の現状として報告をさせていただきました。神奈川県の実況としては、教習所との連携や免許センターとの情報交換はかなり限定的で、また各施設の連携も乏しいことが分かりました。他県の報告について詳細は省きますが、

施設のつながりの乏しさは関東地方共通の傾向と感じました。神奈川のアンケートの中で、県域での情報共有を求める声が複数ありましたので、来年度以降は自動車運転に関わる OT が、情報共有、意見交換ができるよう取り組んでいきたいと思います。今回はアンケートを提出されなかった施設の方も、これから自動車運転に関わる予定の施設の方も大歓迎です。ご興味のあるかたはどうぞご連絡ください。

横浜市総合リハビリテーションセンター
西 則彦
nishi.n@yokohama-rf.jp

地域リハビリテーション部

【地域リハ部主催 研修会日程】

地域包括ケアシステム三士会合同研修会

プログラム：①地域包括ケアシステムの神奈川県の実況
(神奈川県高齢福祉課予定)

②シンポジウム～地域包括ケアシステム構築
に向けた関係職種の取り組みを知ろう～
シンポジスト：医師会・歯科医師会・
薬剤師会

日 時：2018年2月25日(日)10:30～13:00(予定)

会 場：横浜ワールドポーターズ

受講料：無料

※詳細は、チラシまたは県士会ホームページ内“地域
NEWS”(ブログ)で確認をお願いします。

難病リハビリテーション講習会

プログラム：①難病疾患に対する呼吸管理基礎

②難病疾患に対する作業療法

③支援機器に触ってみよう(体験)

※内容の変更あり

日 時：2018年3月11日(日)10:00～16:30

会 場：ウィリング横浜

受講料：1000円(予定)

地域リハ部主催

知ってみよう！地域における作業療法の役割： 発達支援編

平成29年11月18日、横浜リハビリテーション専門
門学校で「知ってみよう！地域における作業療法の役割
【発達支援編】」が開催されました。

今回の研修会では東京都作業療法士会の取り組みを中
心に特別支援学校教育における作業療法、訪問リハビリ
テーションにおける発達支援、障害児通所支援事業にお
ける支援、地域で子どもを支えるための支援体制や就労
支援についてご講演頂きました。

発達障害の可能性のある子どもたちの実態は通常の学
級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援
を必要とする児童生徒に関する調査結果より、学習面
又は行動面で著しい困難を示す6.5%です。40人クラ
スで2-3人特別な支援の必要な児童がいることとなり、
特別支援教育の推進、外部支援専門家を導入する運びと
なりました。OTの役割として教員の子どもの関わり
方や環境調整を中心とした助言・指導を実施しており、
肢体不自由児だけではなく、知的障害児においてOT

のニーズが高まっ
ているのが現状で
す。子どもたちの
教育の場、そして
成長し就労へと幅
広い範囲でのOT
の関わりが必要だ
と考えられます。



今後の障害児支援の在り方として、障害児本人の最善
の利益の保障、家族支援に目を向けていくことが重要で
す。そのためには、ライフステージに応じた切れ目の無
い支援、保健・医療・福祉・保育・教育・就労支援等と
も連携した地域支援体制の確立により地域における連携
の推進が課題だと考えられます。子どもの発達は、環境
からの刺激に対して反応し、働きかけることで環境から
その結果としての刺激を受け、経験となり、積み重ねて
いきます。そして、子どもたちは生まれてからの様々な
経験が土台となり、職業生活を迎えます。より一層幼少
期からOTの関わりが必要であると改めて実感しまし
た。子どもはいつか大人になります。それぞれの段階で
子どもが経験すべき生活場面を成立させるための支援だ
けではなく、子どもが家族の一員として、家族とともに
地域でのよりよい生活を維持し、継続できるようにする
ことが重要だと考えられました。

地域リハ部主催 地域リハ人材育成研修会： 地域包括ケアシステム・地域ケア会議編

地域リハビリテーション部では神奈川県からの委託を
受け、地域で活躍できるリハビリテーション専門職の養
成を目的に、今年度は二回の地域リハビリテーション人
材育成研修会を開催しています。11月26日(日)、二
回目の地域リハビリテーション人材育成研修会として
「知ってみよう！地域における作業療法の役割 地域包
括ケアシステム・地域会議編」が横浜リハビリテーショ
ン専門学校にて開催されました。

前回の研修では介護予防編として各市区町村の地域支
援事業の説明が中心でしたが、今回の地域包括ケアシ
ステム・地域会議編では地域包括ケアシステムや地域ケア
会議の総論や実際が説明されています。県内でOTとし
て地域ケア会議に参加されている事例として横須賀市か
ら山中香OT・秦野市から足立恵美OTよりそれぞれ紹
介があり、行政の立場から考える地域包括ケアシステ
ムの在り方に関して藤沢市地域包括ケアシステム推進室の
小鈴康子氏より講義を頂きました。また地域ケア会議に
先進的に取り組んでいる事例の紹介として日本作業療法
士協会地域包括ケアシステム推進委員の入口晴香先生を

地域リハビリテーション部

お招きし、大分県での地域ケア会議についての説明やグループワークでの地域ケア会議の演習が行われました。

総人口の減少や少子化、高齢者人口の増加など我が国の人口動態は急速な高齢化の進展から毎年のように社会保障費が増加しており、現役世代への負担がますます大きくなっています。急速な高齢化は慢性化している介護人材不足の問題もあり、地域で過ごされる要介護高齢者や介護予備軍の方々を我々専門職だけで支えていくことは最早困難となりつつあり、高齢者を支える新たな仕組みづくりとして地域包括ケアシステムがすでに各市区町村で動き出しています。

地域包括ケアシステムの要となる地域ケア会議において、神奈川県での作業療法士の活動状況が報告されました。地域の具体的なニーズが把握できるなど前向きな感想が出ている一方で一件あたりの紹介が長すぎ十分な症例検討が出来ていない現状の報告もあり、システムとしてはまだまだ発展途上な様子です。そのような現状で大分県では地域ケア会議に理学療法士や作業療法士を全市町村に参加させることで介護保険料の伸び率を抑制出来たとする素晴らしい効果が報告されました。地域ケア会議で作業療法士に求められる役割は ADL・IADL など生活行為を向上させるためのアセスメントと予後予測、方法についての助言や指導及び高齢者の余暇活動や社会参加のニーズ把握や活動の場などの地域づくり、バリアフリーの街づくりなど地域課題と解決方法の提案だそうです。日頃から



対象者の生活支援を生業とする作業療法士の得意分野だとは思いますが、「難しいことを簡単に説明する」、「わかりやすい言葉で端的に助言する」、「多職種間への合意形成能力。」などなど助言に際しては高いプレゼン能力が求められるため日常的な臨床業務からコミュニケーション能力に関しては常に意識しなければならないと強く感じました。

神奈川県内でも総合事業は徐々に確実に進展しており、新たなフィールドに対しての知識を深める必要性が感じられる研修会でした。

地域ケア会議や介護予防事業に参加している方いませんか

各市町村で総合事業の取り組みが本格化してきています。会員の皆様も地域事業に関わる機会が増えてきますので会員の皆様からも情報を得ながら県士会の事業も進めていければと考えています。ぜひ、会員皆様からも作業療法士が関わっている地域事業がありましたら情報提供をいただければと思います。地域リハ部だけでなく県士会全体で情報共有していければと思いますのでご協力の方をよろしくお願いします。

ご意見や情報がありましたら下記のメールアドレスまでご連絡をいただければと思います。

【問い合わせ】地域リハビリテーション部

Eメール：chiikireha@kana-ot.jp

(文責：遠藤)

社会保障制度

大規模災害時における会員安否確認システムの 予行演習参加のお願い

日本作業療法士協会災害対策室が呼びかけている、“大規模災害が起きたときの作業療法士会員の安否確認等を行う災害訓練”に、われわれ神奈川県士会も参加いたします。“震度5強の地震が起きた”と想定して自身の安否等をスマホ、PC等から入力していただきます。今回はあくまで訓練ですが、今後県士会のWebページに、リンクは常駐しておく予定ですので、もし実際に大規模災害が起こったら、訓練同様に入力していただけるようお願いいたします。今回は、そのもしものための訓練だ

と思ってください。同封のチラシもご参照頂き、ぜひ皆様ご参加ください。とても簡単なアンケートです。

① QRコード ②県士会ホームページ ③アドレス、どの方法からでも可能です。多くの方のご参加をお待ちしております！

期 間：1月11日～2月10日まで

QRコード：



アドレス：

<https://goo.gl/forms/cIOMrekIHx8AN5So1>

横浜市総合リハビリテーションセンター 災害対策班
西 則彦

ウェブサイト管理委員会

- 県士会サイトのアドレスが変わりました
旧アドレス <http://kana-ot.jp> ⇒
新アドレス <https://kana-ot.jp>

● 県士会サイト・更新情報を確認する方法 お好みの方法をご利用ください！

更新情報を確認する方法	電子メール（メールマガジン）	Twitter	Facebook
	 登録 ⇒ https://kana-ot.jp/update/from_kana	 フォロー ⇒ https://twitter.com/kaotwebkan	 いいね ⇒ https://www.facebook.com/kaotwebkan
県士会サイトの更新	○	○	○
県士会ブログの更新	×	○	○
リハネットニュース	×	○	○

（文責：ウェブサイト管理委員会）

広報部対外広報班

一般県民向けの活動①

介護フェア IN かながわ に出展（11月5日 横浜市）

そごう横浜店の新都市ホールにて“介護フェア in かながわ”が開催され、県士会でブース出展をしました。当日は医療・福祉・介護のブース出展だけでなく、タレントの城戸真亜子さんの介護体験談等が行われ、吉本芸人さんたちもイベントを盛り上げに来てくれました。当日は多くの方が来場し、当士会ブースにも約50名程度の方に来ていただきました。「理学と作業の違いって？」「どうしたら作業療法を受けられる？」など様々な質問があり、仕事内容や介護相談を中心にお話しました。“作業療法”という知名度は高まっている印象を受けたのでこれからは地域の方々にとってもっと身近な存在になれるよう広報活動を頑張っていきます。（文責：久保田）



一般県民向けの活動②

介護いきいきフェアに出展（11月16日 川崎市）

高津市民館（ノクティ2）にて、介護いきいきフェアが開催されました。来場は東急田園都市線溝の口駅近隣の介護・健康に興味のある県民が多数来場されました。当士会も、福祉用具の展示・相談コーナーイベントにおいて、介護相談ブースを出展しました。

今回は制度対策部福祉用具班との協力出展にて、3名の作業療法士による介護相談や福祉用具・自助具の説明・相談を行いました。来場者には過去に介護の経験のある高齢者や現在も介護中の方々の介護の経験談の傾聴とその相談や、自助具の相談、介護サービスや手続きに関する相談など、30名以上の方々の相談対応を行いました。介護が必要なときにどこに相談したらよいかわからなかった、とおっしゃる来場者もあり、こういった地域活動での発信の重要性を感じました。

引き続き広報部では作業療法の啓発活動を行ってまいります。興味のある会員の方は是非ご協力をお願いします！！（文責：酒井）



求人案内

医療法人社団 成仁会 市ヶ尾カリヨン病院

募集人数：常勤 2名

募集内容：回復期病棟での脳血管患者向けのリハビリ提供
(整形患者も有り)

施設概要：110床(回復期、療養)

地域包括ケア病棟新設予定有り

給与：新卒月収 253,000円～(諸手当込)

賞与：年2回、昇給：年1回

福利厚生：各種社保完備、退職金制度有り 託児所完備・他

勤務時間：9:00～17:15(実働7時15分/休憩60分)

休日：年間125日程度—シフト制—

+上記以外に有給・特休有り

見学：随時受付(要電話連絡) 担当：リハ科室長 近藤
045-511-7249(リハ室直通)

選考方法：随時面接(要電話連絡)

問い合わせ先

〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町23-1
担当：総務課 採用担当

TEL: 045-511-7811 FAX: 045-511-8547

ニュース宛名への 職場名印刷に関するお詫び

この度、ニュースの自宅送付を希望されている会員の方への宛名に、本来印字されない職場名が印刷されてしまいました。会員の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。個人情報の管理につきましてはこれまで以上に厳重に行ってまいります。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

(事務局長：金山桂)

事務局からのお願い

●退会される方

年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。
(上記日必着)。

●届出内容を変更される方

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を①郵送又は②FAXにてご提出願います。
(随時受付)。

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。なお期日までに提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

編集後記

皆様明けましておめでとうございます。そしてはじめまして、まつです。この度広報部のメンバーに参加することになりました。神奈川県OTの素晴らしい出来事や役立つ情報など多くのニュースを伝えられるよう頑張ります。2018年の抱負は公私ともに「明るく楽しく生き生きと」です。

宜しくお願いします！

(文責：まつ)



一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (189号)2018年2月発行(年6回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 洸(新戸塚病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院)

安田 優子(横浜旭中央総合病院) / 丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院)

井部 賢吾(北里大学東病院) / 松井洋鷹(渚野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号

TEL/FAX: 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00

メールアドレス: jimu@kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川 検索

Facebook

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter

<https://twitter.com/kaotwebkan>

